

# 1

## 弥生時代～飛鳥時代 (the Yayoi-Asuka Period) 「日本国成立の黎明期」

本章では、弥生時代から現代までの各時代をどの階層が、そして誰が日本の政権を握っていたのかを中心に説明していこう。それによって日本という国が成立してから現代に至るまでの、ざっとした流れがつかめるはずである。歴史とは、人間の成功と挫折の大いなる<判例集>である。我々は、有史以来日本がたどってきた道を把握し、その知識を教養として身に付けるのみでなく、そこから今後歩むべき道を考えていく必要がある。

弥生時代 (前4～後3世紀) ～古墳時代 (3世紀後半～7世紀) ～飛鳥時代 (7世紀) —大和の国が成立し、天皇家が確立する

日本に「社会」と呼べるものが初めて成立したのは、中国大陸から水稲耕作(wet-rice cultivation)が伝わった弥生時代(the Yayoi period)である。これによって、今まで狩猟(hunting)が中心で全員が平等だった社会に、稲作(rice cultivation)のやり方を指示するリーダーが登場し、また米を大量に蓄える者が現れることによって貧富の差(gap between rich and poor)が出てきたことから、社会的な階層(social classes)が生じた。土地所有者(landowner)が力を持ち始め、有力な土地所有者はさらに近隣の集落を併合し、徐々に「倭」と呼ばれる日本最初の国家に発展していった。

中国の文献には、「倭国」の有名な2人の王についての記載がある。混乱せずに覚えておこう。

文献名	名前	実績
「後漢書」	倭の奴国王 (King of the state of Na in Wa)	57年、後漢(the Later Han Dynasty)に朝貢して、「漢委奴国王」という金印(gold seal)を受けた。(福岡の志賀島 <sup>しかのしま</sup> で発見)

「魏志倭人伝」	邪馬台国の卑弥呼	239年、魏(the kingdom of Wei)に使いをおくり(sending an envoy)、「親魏倭王」の称号を受けた。
---------	----------	--

5世紀までには、大和朝廷(the Yamato Court)が現在の奈良県を中心に近畿以西、九州までを支配するに至った。卑弥呼の邪馬台国と大和朝廷(the Yamato Court)の関係は、長年研究されてきたが、まだ解明されてはいない。「日本書紀」(The Chronicles of Japan)などに伝えられる大和朝廷初期の天皇たち(神武天皇、仁徳天皇ら)の実在も確認されてはいない。

6世紀、百済(Paekche)を通じて伝来した仏教(Buddhism)をめぐる崇仏派(the pro-Buddhist faction)と排仏派(the anti-Buddhist faction)の内戦が起こり、崇仏派の蘇我氏(the Soga clan)が勝利したあと、その勢力はますます強まり、馬子・蝦夷・入鹿の3代には天皇家の外戚(maternal relative)として、皇室の力を圧倒するまでになった。

7世紀に入ると、摂政(regent)となった厩戸皇子(聖徳太子)が、日本最初の憲法である「十七条の憲法」(the Constitution of Seventeen Articles)を發布した。この頃から遣隋使(embassy to Sui-Dynasty China)、遣唐使(embassy to Tang-dynasty China)が派遣され、儒教(Confucianism)、道教(Taoism)、漢字(Chinese characters)など、中国文化が盛んに伝来するようになった。

蘇我氏から藤原氏(the Fujiwara clan)に政治の実権が移ったきっかけは、645年に、中大兄皇子(後の天智天皇)と中臣鎌足が、蘇我入鹿を殺害したことであった。2人が中心となって起こした一連の改革は大化の改新(the Taika reform)と呼ばれている。



うまやどのおうじ  
厩戸皇子  
(聖徳太子)

日本地理

世界地理

通史

経済史

外交史

文化史

戦後史

中大兄皇子らが蘇我入鹿を殺害したことを「大化の改新」と覚えている人が多いようだが、正確には、当時朝廷を実質支配していた蘇我氏を滅ぼして行った、革新勢力(the forces of reform)中大兄皇子と中臣鎌足による一連の改革のことを指す。

主な内容は、私有地、私有民の公地公民化(**placing private property and servants under public management**)で、これによって地方行政権(local administration)を中央の朝廷が握ることとなった。また、戸籍(census register)が作られ、班田収授法(**the State Land Lease Law**)が開始され、日本に初めて系統立った国家運営システムが成立した。この大化の改新の功績により、鎌足は「藤原」の姓を賜り、平安期の藤原氏の栄耀栄華はここに始まったのである。

天智天皇の死後、その息子<sup>おおとものおうじ</sup>大友皇子と弟の<sup>おおあまのおうじ</sup>大海人皇子の間に、古代最大の内乱、壬申の乱(**the Jinshin War**)が勃発し(672年)、勝利した大海人皇子が即位(**accede to the throne**)して天武天皇となり、朝廷を<sup>あすかきよみはらのみや</sup>飛鳥浄御原宮に移した。天武天皇とその皇后(後の持統天皇)の時代から、日本は唐の政治制度に倣った律令国家(**the nation governed by Ritsu [the criminal codes] and Ryo [the administrative and civil codes]**)の確立を目指し始めた。701年には、大宝律令(**the Taihō Code**)が完成し、律令国家の基本法典が整った。

# ?

## 仏教、神道関係のボキャブラリーを増やそう！（1）

次の日本語は、英語で何と言うでしょう？

1	大乘仏教	2	道祖神
3	小乗仏教	4	鳥居
5	托鉢	6	お神輿
7	托鉢僧	8	狛犬
9	他力本願	10	賽銭箱
11	自力本願	12	ご利益
13	檀家	14	おみくじ
15	念仏	16	七福神
17	法事	18	絵馬
19	即身成仏	20	氏神

### 答え

1	Mahayana Buddhism	2	travelers' guardian deities
3	Hinayana Buddhism	4	shrine gate, Shinto shrine gateway
5	religious mendicancy	6	portable shrine
7	mendicant, begging bonze	8	stone-carved guardian dogs
9	salvation by faith	10	wooden box for receiving money offerings, offertory box
11	self-reliance, salvation by one's own efforts	12	divine favor, answer to a prayer
13	Buddhist parishioner	14	written oracle, fortune-telling paper
15	Buddhist invocation	16	the Seven Deities of Good Fortune
17	Buddhist memorial service	18	votive picture tablet
19	attaining Buddhahood while still in the flesh	20	tutelary deity